

☆ねらい

自分の幼い頃の思い出を7～10文の英文で書くことができる。

☆扱う場面

- ・学年 2年
- ・be動詞の過去形や過去進行形、接続詞 when を学習した後の自己表現活動
- ・所要時間 3時間

☆指導の手順と留意事項

学習活動	指導の仕方・留意点等
① 条件作文(接続詞 when を使う)をノートにたくさん書く。	<ul style="list-style-type: none"> ・「私が〇才の時、～が好きだった。」など、when を用いた文をノートにたくさん書かせる。 ・例文を示し、文を書きやすいように指導する。 ・たくさんの文を書くように促す。
② 自分史エッセイを作ることを知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・文化祭展示に向けて、作品を作ることを説明する。 ※幼い頃の写真を一枚用意しておく。
③ 自分史エッセイ作成のための日本語を書く。	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートの(2)の表を完成させる。
④ ③の日本語を英文で書く。	<ul style="list-style-type: none"> ・書き出しの文を指定し、下書きの英文を書かせる。 ・例文を参考にしながら、5文から10文の英文を書くよう励ます。 ・生徒の英文を教師が添削をする。
⑤ 添削後の英文を書く。	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートの(5)に添削後の英文を書かせる。
⑥ 展示発表用の清書用紙を完成する。	<ul style="list-style-type: none"> ・写真を貼り、自分史エッセイとして10文程度の英文を別の紙に書かせる。 ・文化祭で展示することを伝え、見やすいように工夫させる。